

事務事業評価における総括

部 局 名	総務部	記入責任者	秋津 伸一
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>総務部の業務計画に位置付けた事業は 52 事業であり、このうち S 評価が 49 事業、A 評価が 3 事業であり、活動及び成果の指標をおおむね達成しています。</p> <p>市民課の業務計画に位置付けられた「マイナンバーカード（個人番号カード）の交付等に係る事務」については、交付件数に係る指標は達成できなかったものの、本市のカード交付率（交付 / 人口）14.0.%は、神奈川県 averages 交付率（13.9.%）を上回っており、また、交付事務も円滑かつ適正に実施できたことから「A」評価としました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした小出支所の茅ヶ崎市斎場における「棺台車の更新整備」については、経年劣化が進行し、更新時期が来ているものの、他の業務との調整を図ったことにより、見送ることとしました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>平成 32 年に実施される国勢調査に向け、効率的な執行ができるよう、前回の国勢調査における業務プロセスの分析や課題抽出に着手するとともに、関係課が保有する情報の早期収集などに努めます。</p> <p>働きかたの見直しの取組の 3 年目として、平成 30 年度に新たに人事評価制度へマネジメント評価を採り入れるとともに、職員行動改革の全庁展開を図るなど、これまでの改革活動の効果が組織内に継続して定着できるよう、取り組みを進めます。</p> <p>また、平成 32 年度の会計年度任用職員制度への移行に向けて、企画部、財務部と連携しながら、さらなる実態の把握に努めるとともに、今後の対応について検討します。</p> <p>行政文書の取り扱いに関しては、より適正な文書管理が推進されるよう、公文書管理条例の制定へ向けた取組を進めます。</p> <p>市民課においては、働き方の見直しの観点から、業務の効率化に視点を置き、業務のスリム化や標準化、平準化などにつながるプロジェクトを立ち上げ、業務改善に取り組めます。市民課の窓口は、高齢者や障害者の方など誰もが利用できるよう、サービスを安定的に提供することが求められていることから、連携型窓口の実施や出張所の開設などよりよいサービスの提供に資する施策を推進しました。しかし一方で、マイナンバーや税証明など様々な業務を市民課の窓口で実施していることから、業務が複雑化、多様化しており、市民サービスの維持のために、限られた人的資源を有効活用することができるよう民間委託をも含めた最適な実施手法を検討し選択することが必要です。</p> <p>斎場については、平成 5 年に開場して以来 24 年が経過しており、施設及び設備ともに老朽化しているため、改修及び修繕を計画的に行います。</p>			